

情報誌 スマイル

2022年 夏号

社会福祉法人大善隣館
幼保連携型認定こども園
蓮代寺こども園



小松市蓮代寺町 に 173 TEL 46-6997
http://www.rendaiji-kodomoen.com



地域の皆様こんにちは。蓮代寺こども園です。暑さ極まる頃となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。子どもたちと水やりをしている園庭の畑のキュウリやトウモロコシなどの夏野菜は、6月からの暑さに伸び悩んでいましたが、空梅雨の後のまとまった雨のせいもあり、それからは面白いように茎や葉が伸び、雨の恵の素晴らしさを感じずにはいられませんでした。まだまだ猛暑が続きますが、地域の皆様には熱中症にお気をつけてお過ごしください。また、小松市内においても新型コロナウイルス感染症の第7波の影響を受け、連日、多数の感染者が発表されています。これまで同様、感染症対策や体調管理に十分お気をつけください。

さて、地域情報誌『スマイル』夏号が完成しました。前回の春号に続き、蓮代寺こども園の教育・保育方針『三つのゼン』の一つである“安全”への取り組みについて part2 を中心に園の活動をお伝えしたいと思います。

蓮代寺こども園の教育・保育方針



【三つのゼン】安全・自然・積善



安全で快適な施設整備、防災教育、地域連携等により園児・児童の安全の確保を推進します。

田んぼでバッタをつかまえたよ！



地域の方のご厚意で、園の隣の田んぼで遊ばせて頂けることとなりました。早速、たんぼ組の保育参加に、親子と一緒に田んぼに入り、虫を探したり草花を摘んだりして遊びました。これから季節を問わず田んぼに出向き、身近な自然との触れ合いを存分に楽しみ見たいと思います。

夏まつりweekを満喫♪

保育室をまつり風に装飾したり、お祭り音頭を流して踊ったりして、お祭りの雰囲気味わいながら様々なお祭りごっこを楽しみました。3歳以上児は夏まつりに何をしたいか意見を出し合い、お店に必要なものを作ったり役割を決めたりして積極的に取り組んでいました。一週間に渡って楽しんだ夏まつりweekでの各年齢の様子をご紹介します。



0歳児 身の回りのものに興味を持つ

大好きな絵本『おめんです』のずらりと並んだお面のページを再現すると、気になるお面を指したり、お気に入りのお面を被せてもらったりして、ニコニコ笑顔の子どもたちでした。



1歳児 自分の体を動かし様々な動きをしようとする

お化け絵本をきっかけにお化けに興味が出てきました。保育室のあちらこちらにお化けの絵を貼っておくと、「おばけおった」と保育者に知らせたり、お化けめがけてボールを投げたりして楽しんでいました。



2歳児 見る、触るなどの経験を通して感覚の働きを豊かにする

目で見て、手先、指先を使い、気に入った魚を狙って釣りました。両手、指先のコントロールが巧みになってきた子どもたちは、満足するまで魚釣りを繰り返す中で、釣り竿のマグネットが魚につけたクリップにくっつく釣れることに気づきました。



3歳児 友だちや保育者等とごっこ遊びをする中で、言葉のやりとりを楽しむ

「いらっしゃいませ」「何かかき氷がほしいですか」「レモンちょうだい」とかき氷屋さんとお客さんの元気な声が響きます。シロップに見立てた絵の具がコーヒーフィルターにじんわり染み込んでいく様も楽しんでいました。



4歳児 輪踊りを身体全体で表現し友だちと楽しむ

年長児が飾りつけたやぐらが出来上がると、早速輪踊りが始まりました。今年の輪踊り曲の一つが「クワガタ音頭」です。両腕を大きく振り上げた強そうなクワガタが現れ、友だちとポーズを見せ合い、クワガタになりきって楽しく踊っていました。



5歳児 考えたり工夫したりする中で自分の考えをより良いものにする(思考力の芽生え)

空き箱などを利用して射的的的を作りました。どうしたら立体的になるのか?的に点数つけ倒れた的の点数を紙に書いて渡すとお客さんが喜びの?などと考えを出し合いイメージを共有しながら積極的に参加していました。

安全 (part 2)

◎安全への心くばりを…
すべての子どもが「安全」にすごせる心くばりを行ないます

- 子どもたちが、健康・安全で情緒の安定した生活ができるよう努めます
- 生活や遊びの中で、子どもたちに自らの身を守る安全意識を培います

安全の日・避難訓練



毎月1日は「安全の日」として、「雨の日の安全な生活について」や「水遊びのきまりや約束」などのテーマを決め、園生活を振り返りながら子どもたちと話し合ったり、職員間で確認し合ったりして、安全について考える日を設けています。

また毎月一回、子どもたちを安全に避難誘導できるように、また、子ども達自身に身を守る行動が身につくようにと避難訓練を行っています。火災、地震、風水害が起きた時、不審者が現れた時など様々な場面を想定し、その時々に応じた訓練を実施しています。また7月8日午前11時に実施されたシェイクアウトいしかわ(県民一斉防災訓練)にも参加し、地震の際の安全確保行動「しゃがむ、かくれる、じっとする」について実践し、子どもたちと確認し合いました。

暑さ指数を測定しています！



暑さ指数測定器

熱中症予防のため、毎日、活動前と活動中に園庭や保育室、遊戯室、バルコニーなどの高さ90cmの位置で暑さ指数を測定しています。判断基準の一つとして暑さ指数が28℃以上の場合は、屋外での活動を控える、または短時間にする等、暑い夏、子どもたちが安全に過ごせるよう留意しています。

【暑さ指数とは】

熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境③気温の3つを取り入れた指標です。

心肺蘇生の研修を行いました

こども園の看護師の指導により、毎年全職員が心肺蘇生の研修を受けています。教育・保育中に救急救命やAEDの使用が必要とならないことが一番大切なのですが、万が一に備えて職員が迷わずに動けるよう事故発生時の対応を理解しておくことはとても重要です。

今回は小児の心肺蘇生用訓練マネキンを使い、心肺蘇生の方法を確認しました。人形だとわかっていても、指や掌を体に乗せると緊張を伴います。毎年講習を受けている職員たちも、一つ一つの動作や行動の確認をしながら訓練を行いました。

子どもたちの大切な命を預かる仕事だからこそ、講習を積極的に受け、学んだことをいつも心に留めておかななくてはならないと強く感じました。



毎月19日は食育の日です



ICTを活用したペーパーレス化及び食品ロスの削減を推進します。

子ども達に様々な食材に興味を持って欲しいとの思いから、毎月19日にその日の給食の食材を展示しています。0.1.2歳児クラスでも、野菜などその日の食材を保育室に持っていき、給食の先生から話を聞いたり、直接見たり触れたりしています。また地産地消として小松産トマトや人参、大麦を多く取り入れています。子どもたちと栽培している野菜は収穫するたびに調理し、残さずにおいしく味わっています。



これはじゃがいもだよ

おおきなにんじんだね

これは何かな?



暑い夏におすすめのメニュー！

小松とまとのうめえパスタ



- ◎材料(2人分)
- 小松とまと(大玉) 1個
 - スパゲティ(乾) 200g
 - 小松菜 100g
 - ハム 50g
 - オリーブオイル 大さじ2
 - 梅干し 1個
 - 昆布茶 小さじ2
 - 塩こしょう 少々
 - しょうゆ 小さじ2



◎作り方

- ①塩を入れたお湯でスパゲティをゆでてから冷水につけ、ざるで水気を切っておく。
- ②ハムは千切り、小松とまと、小松菜は食べやすい大きさに切る。小松菜はゆでて水気を切りしぼっておく。
- ③ボウルに①と②を入れ、オリーブオイル、梅干し(種をとってたたいたもの)、昆布茶、塩こしょう、しょうゆを入れて混ぜる。